平成22年度菊陽町中学生海外派遣事業

国際化時代に生きる人材育成を目的として平成８年度から始まった本町の海外派遣事業も、今回で14回目を迎えました。昨年度は新型インフルエンザの影響でやむなく中止しましたが、本年度は夏休み期間を利用し、菊陽中学校・武蔵ヶ丘中学校から６人ずつ計12人の生徒が２週間オーストラリアに派遣されました。

現地では、バッカスマーシュ・グラマー校の授業に参加し、９日間のホームステイを体験しました。生徒たちは、外国での生活を通して、日本では得ることのできない貴重な体験ができたようです。

菊陽中学校

内田　純鈴（うちだ　すみれ）さん

大塚　瑞貴（おおつか　みずき）さん

大渡　あかね（おおわたり）さん

可村　小夜香（かむら　さやか）さん

生山　裕起（しょうやま　ゆうき）さん

丸林　巧（まるばやし　たくみ）さん

菊陽中学校　2年　内田　純鈴

私は今回のオーストラリア研修を通して、たくさんの人に出会い、たくさんのことを学びました。みんなと知り合っていくうちに感動したことは、みんながフレンドリーだということです。学校の廊下ですれ違うと、慣れない日本語で「こんにちは」と言ってくれたり、話しかけてくれたりしたことがすごく嬉しかったです。オーストラリアで学んだことを、これからの自分の人生に生かしていきたいと思います。

菊陽中学校　2年　大塚　瑞貴

私は海外派遣事業に参加してたくさんのことを学びました。前まで英語が得意じゃなかったけど、とても好きになれたし、英語に強くなったんじゃないかなと思いました。オーストラリアは日本と違う文化などがたくさんあってカンガルーなどの肉を食べることや、道路の横にたくさんの動物達がいて、すごく開放感に溢れたところでした。しかも水不足で水をとても大切に扱っていて、私はとても驚きました。支えて下さった方々、ありがとうございました。

菊陽中学校　2年　大渡　あかね

ジルビート家で私が最初に聞き取れた言葉は、「ミディアムがいい？レアがいい？」でした。これをきっかけに私のホームステイ生活が始まりました。バッカスマーシュの人達はみな温かく、私たちを家族のように受け入れてくれました。もう少しそこの一員でいたかったです。しばらくはメール交換しかできませんが、もう一度ジルビート一家に会いに行き、今回伝えられなかった分まで会話をすることが、私の夢です。

菊陽中学校　2年　可村　小夜香

私はこの夏休みに派遣生としてオーストラリアに行きました。初めて親元を離れて外国で生活しました。そしてたくさんの出会いや発見をしました。日本との違いもたくさんありました。オーストラリアでは水が貴重なのでシャワーをサッと浴びます。私のホストファミリーはとても優しく接してくれました。この体験は一生忘れられない思い出になりました。ホームステイに行かせてくれた家族に感謝しています。また会いに行きたいです。

菊陽中学校　2年　生山　裕起

オーストラリアでは、自分の英語があまり通用せず、困ったこともありましたが、ボクの英語を一生懸命に聞いてくれた友達の気持ちはとてもうれしかったです。また、僕を楽しませるために、心を尽くしてくれたホストファミリーもいました。多くの親切に支えられていると感じる貴重な2週間でした。今度は勉強してもっとしゃべれるようになり、ぜひもう一度オーストラリアに行きたいという目標ができました。

菊陽中学校　2年　丸林　巧

オーストラリアでの2週間は、自分にとって貴重な体験になりました。とくに、コミュニケーションを取り合うことの大切さを知りました。ホストファミリーや学校の先生や生徒と話したりすることで関わりを持てたり、会議がはずんだりもするからです。なので、この教訓を学校生活に取り入れ、仲間の輪をさらに広げていきたいです。

武蔵ヶ丘中学校

荒木　紗依（あらき　さえ）さん

亀川　達哉（かめかわ　たつや）さん

菊川　琴美（きくかわ　ことみ）さん

工藤　亮子（くどう　りょうこ）さん

山川　航平（やまかわ　こうへい）さん

若杉　早哉佳（わかすぎ　さやか）さん

武蔵ヶ丘中学校　2年　荒木　紗依

私がオーストラリアでホームステイをして一番心に残ったことは、オーストラリアの人たちの心の温かさです。例えば、私がクラスに入って何を言えばいいかわからないとき、イスを持ってきてくれて、気さくに話しかけてくれました。初対面の私に昔からの友達のように接してくれました。私は、そのような心の温かさに感動しました。彼らにまた会えると信じています。

武蔵ヶ丘中学校　2年　亀川　達哉

今回オーストラリアへ行った事は、私に大きな経験や出会いの場を与えてくれました。ＢＭＧでの生徒達の日本語に対する熱心さ、ホストファミリーの親切さ、他の派遣生徒の一生懸命さ、すべてが私にとって刺激になりました。

また、ホストファミリーなどと英語で会話ができて、非常に大きな自信になりました。この体験を忘れずに、今後の学校生活も頑張ろうと思います。

武蔵ヶ丘中学校　2年　菊川　琴美

私はオーストラリアでたくさんの人に出会い、たくさんのことを学び、たくさんの素晴らしいことを経験させて頂きました。ホストファミリーとも仲良くできて、日本には帰りたくないほど楽しかったです。今回オーストラリアで学んだことをこれからに生かすとともに、英語の勉強に一生懸命励んでいきたいと思います。そしてまたいつか、オーストラリアに行き、ホストファミリーやバッカスマーシュ・グラマーの人々と再会したいです。

武蔵ヶ丘中学校　2年　工藤　亮子

私がオーストラリアで一番感じたことは、コミュニケーションの大切さです。私は最初オーストラリアへ行っても積極的に話すことができませんでした。しかし、向こうの人は積極的に話しかけてくれました。私もつられて積極的になったと思います。あと、ガタガタな英語で話をしても分かろうとしてくれる優しさを感じました。人を思いやること、人の目を気にしすぎないことで自分は変われたと思います。オーストラリアが大好きになりました。

武蔵ヶ丘中学校　2年　山川　航平

今回オーストラリアへ行って、たくさんの発見をしました。僕が、一番驚かされたことは、自動販売機が日本に比べ、かなり少ない事です。市街地にも少なく、飲み物はわざわざ店まで買いに行かないと手に入りませんでした。喉が渇いたときは大変でした。ホストファミリーとは楽しく過ごすことができました。一緒にゲームをしたり、クリケットをしたりと、とてもいい時間を過ごすことができました。また会いに行きたいと思います。

武蔵ヶ丘中学校　2年　若杉　早哉佳

私は、今年の夏休みの2週間をオーストラリアで過ごしました。そこでの生活は、とても充実した素晴らしいもので、毎日学校へ行き、新しい友達ができることが楽しみでした。オーストラリアの人はみんな優しく、とても明るかったです。たくさんの人とハグができて嬉しかったです。ホストファミリーとは、本当の家族のようになれた分、別れが辛かったです。この2週間は一生の思い出です。このような経験をさせて頂き、感謝しています。